

ロシアはウクライナから撤退を

市民団体と日本共産党が人道支援募金活動



狛江市平和都市宣言に基づき 憲法9条を生かし核兵器廃絶へ

ロシアのウクライナ侵略で多くの命が失われています。絶対に許せません。日本共産党市議団は即時撤退を強く求めます。

世界中の人々が「ロシアは侵略をやめよ」「国連憲章を守れ」と声を上げています。国連はウクライナ侵略に抗議する決議を141ヶ国の賛成で採択しました。狛江市議会もロシア政府に抗議文を送付しました。

危険な核兵器共有

プーチン大統領は、核兵器で世界を脅しています。広島・長崎への原爆投下では20万人を超える人々が犠牲になりました。このような悲劇を絶対にくり返してはなりません。「ロシアは核兵器を使うな」の声を広げましょう。

安倍元首相や日本維新の会は、日本も核兵器を保持するよう主張しています。大変危険です。核兵器の脅威をなくす唯一の方法は核兵器廃絶です。政府は核兵器禁止条約に参加して核兵器廃絶の先頭に立つべきです。

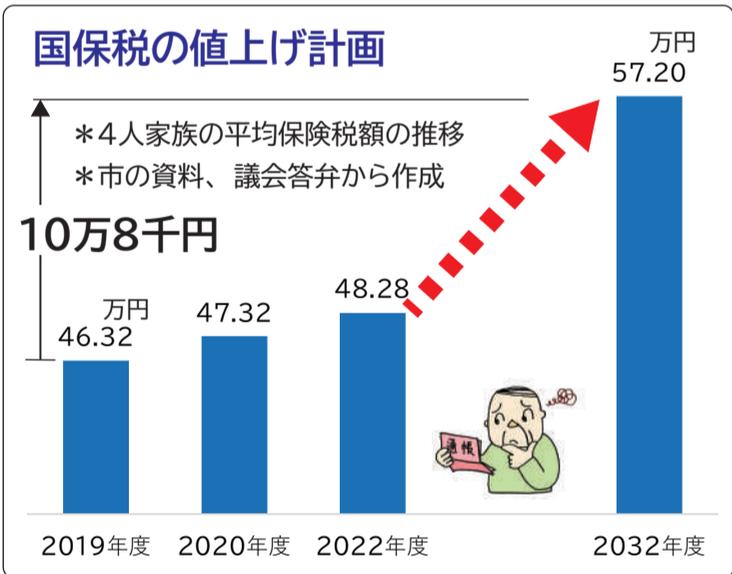
「憲法9条で日本は大丈夫か」とご心配の方もいらっしゃると思います。しかし万が一の場合に自衛する権利は国連憲章でも認められています。いま最も危険なことは軍事対軍事の悪循環で日本が敵基地を攻撃する侵略国になってしまうことです。

憲法9条は2千万人の命を奪った侵略戦争の痛切な反省のうえに定められました。狛江市平和都市宣言は「第9条に記された戦争の放棄、交戦権の否認」を市と市民の行動原理とし、核兵器完全禁止を宣言しています。9条を生かした積極的な外交で平和な東アジアを築くことこそ力を尽くすべきではないでしょうか。



持てるようにしようと主張しています。大変危険です。核兵器の脅威をなくす唯一の方法は核兵器廃絶です。政府は核兵器禁止条約に参加して核兵器廃絶の先頭に立つべきです。

国民健康保険税—14年間で 4人家族で10万円余値上げ



コロナ禍、物価高、年金切下げ…
今年度の値上げは中止を！



狛江市では国民健康保険税の14年間の値上げ計画が実施されており、最終的には4人家族で10万8千円もの値上げになります。

コロナ禍と物価高、年金切下げで市民生活は厳しく日本共産党は3月議会で財源も示し今年度の国保税値上げ(4人家族で1万1600円値上げ)の中止を求める予算組替えを提案しました。自民、公明、立憲などの反対で否決されましたが、ひきつぎ高すぎる国保税の負担軽減にがんばります。

子ども医療費助成の所得制限撤廃拡大 就学援助の対象者拡大 子どもの国保税軽減など実現

日本共産党市議団が一貫して要求

今年度予算には、①子どもの医療費無料化制度について小学校3年生から6年生まで所得制限を撤廃する予算、②就学援助制度の対象者を拡大する予算、③子どもの国民健康保険税を軽減する予算(国制)を求めました。

これらは日本共産党市議団が、一般質問、予算要望などで一貫して求めてきました。

度で就学前の子の均等割を半額に軽減、市制度で第3子以降の均等割を無料にする。などがもりこまれました。

きたものです。②と③については、予算組替え提案にも盛り込み、くり返し実現を求めました。

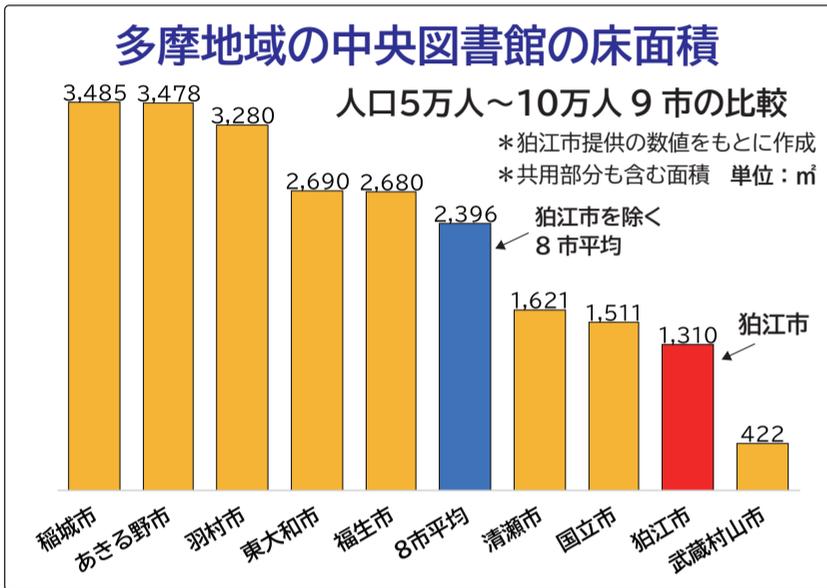


「ちょっと待って図書館移転」署名4千筆

市民センター改修基本方針は見直しを

いま市民センター改修と新図書館建設に関するワークショップ等が行なわれていますが、「中央図書館の移転先があまりに狭く充実できない」「分割移転の方針は反対」

など中央図書館を商工会館・駄倉地区センターの所に移転する市の方針の見直しを求める声が広がっています。市長宛の要望書名は3月末で4千筆を超えました。



「ちょっと待って図書館移転連絡会こまえ」が追加署名提出。署名は累計4081筆に（3月28日、市役所内）

参加・協働で見直すべきです。少なくとも中央図書館の分割移転は中止し中央図書館は現在地で充実すべきです。

中央図書館は現在地で充実を
ワークシoppでは、中央図書館の良いところとして「市の中心部で市役所の隣でアクセスも良く立地がいい」という声が多数出され、改善したいという声は「蔵書数が少ない」「開架図書が少ない」「ゆったりとした気分を本を読めない」などの声が出されています。中央図書館を分割移転する方針は、移転先があまりに狭く市民合意が得られていません。市民センター改修等基本方針は一旦保留し、市民

日本共産党市議団の予算組替え提案 2022.3.30 本会議

<民生費関係>

- (1) ひとり親家庭への家賃補助制度を創設 (400万円)
- (2) 訪問介護など介護保険利用料の軽減制度を創設 (50万円)
- (3) 高齢者・障がい者への入浴券交付事業の所得制限を撤廃 (47万円)
- (4) 高齢者補聴器の購入費助成制度を創設 (300万円)
- (5) (仮称) 根川学童クラブ整備へ改修工事設計予算を復活 (345万円)
- (6) 住宅リフォーム・店舗リニューアル助成制度を実施 (500万円)
- (7) 新型コロナに感染した方への傷病見舞金支給制度を創設 (500万円)
- (8) 国民健康保険特別会計への繰出金を増額する (3,850万円)

<衛生費関係>

- (1) 学校・保育園・学童クラブ・幼稚園、介護施設等で働く人たちに抗原検査キットを配布 (550万円)
- (2) 带状疱疹ワクチン接種費用を助成 (80万円)

<教育費関係>

- (1) 新型コロナ対策として大学生等に生活・学業応援給付金5万円を支給 (3,400万円)
 - (2) 生理用品を小中学校のトイレに常備する (6万円)
 - (3) 市民センター改修工事実施設計委託を削除する (△1,290万円)
 - (4) 新図書館整備基本設計委託を削除する (△510万円)
- 財源は財政調整基金 (3,278万円) 地方創生臨時交付金 (4,950万円)



3月議会で一般会計、国民健康保険会計、後期高齢者医療保険会計が、自民、公明、立憲などの賛成多数で可決成立しました。日本共産党市議団は一般会計と国民健康保険会計の予算組替え提案を行い、組替え賛成、原案反対の討論を行ないました。

コロナ禍と物価高が市民生活を直撃しています。予算には市民要望に添えたものがあるものの、低所得者が多く加入する国民健康保険の値上げ計画をそのまま実行し、市民生活をいつそ苦しめる内容になっています。また市民合意の得られていない市民センター改修等基本方針をそのまま具体化するものになっています。

そのための予算組替え提案は、国保税値上げを中止し、市民センター改修方針の再検討を求めることにも、ひとり親家庭への家賃補助、高齢者補聴器の購入費助成など12項目を提案。今年度は市税の増などで一般財源が3億4千万円も増えており財政的にも十分可能です。提案は自民、公明、立憲などの反対で否決されましたが、ひきつぎこれら施策の実現に奮闘します。

日本共産党が予算組替え提案

財政的にも十分実現可能

なんでも相談—日本共産党市議団



鈴木えつお議員 3488-8839
西村あつ子議員 3480-2780
宮坂良子議員 3480-1895
岡村しん議員 6751-2757

無料法律生活相談

- 毎月第1火曜日…午後1時～4時
- 市役所3階 日本共産党市議団控室

*市議・弁護士が相談をお受けします。
*お申し込みは3430-1177 (団控室) か各市議へ

日本共産党市議団ホームページ 日本共産党狛江市議団 [検索](#)

